

第2回総合計画策定検討部会(H21.1.29)終了後の意見

資料3

整理番号	該当項目	意見等の内容	事務局の対応	
1	1. ふくしまの特性 (1)特色あふれる 県土構造 他	今後30年以内に大地震が発生する確率は低いとされており、(略)特に阿武隈地域は、(略)安全性は極めて高い地域とされています。	リスクマネジメント、リスクコミュニケーションが求められているのなら、 <u>地震に関して断言してしまってもよいのかどうか疑問である。</u>	ご意見を踏まえ、庁内で検討した結果、安全・安心に関する記述を全面的に整理し直すことにしました。
2	1. ふくしまの特性 (2)多極分散型の 県土構造	中核市である郡山市、いわき市、県庁所在地である福島市	<u>県庁所在地が後述されていることに違和感がある。</u>	ご指摘を踏まえて修正しました。
3	1. ふくしまの特性 (2)多極分散の 県土構造	本県の面積の大部分を過疎・中山間地域が占め、県土の保全、水源のかん養、災害防止のため、重要な役割を果たしています。	過疎・中山間地域は人口流出や高齢化、不在地主、限界集落の問題などから耕作放棄地や荒廃した山林もあり、 <u>県土の保全、水源涵養、災害防止の重要な役割を果たしているか疑問である。</u> 過去に果たしていた場所であることから、むしろその機能の回復が期待される場所ではないか。	原案どおり  理由：過疎・中山間地域の重要性を強調するため、原案どおりとしたい。
4	1. ふくしまの特性 (3)有利な地理条件(首都圏、東北圏の結節点)	北関東・磐越地域における連携など、広域連携の取り組みが行われています。	・FIT構想の拡大と捉えるべきなのか？	注釈等で補足します。
5	2. 時代潮流 (1)人口減少、超高齢社会の到来 他		人口減少社会で負担を抑えつつ、効率的で効果的な整備という理由から、 <u>既存の社会資本を有効に活用するという中に維持管理、補修という積極的な言葉を盛り込むべきではないか。</u>	ご意見として承りました。ご指摘の部分については、2. 時代潮流(1)人口減少・超高齢社会の到来②今後の展望 において記述されておりますが、今後必要に応じて内容を検討整理します。
6	2. 時代潮流 (5)情報通信技術(高度情報化社会)の進展	高度情報社会の進展は、電子マネーの普及やインターネットを利用した経済活動の普及等により人々の身近な生活にまでその影響がさらに浸透していくことが予想され、今後、 <u>情報機器をいかに活用できるかによって格差が発生しないよう対応していくことが求められます。</u>	意味が不明確である。  ・情報機器の活用の度合いの差を示すのか。 ・施設整備の差を示すのか。 ・格差とは何か。	ご指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。  <u>今後、情報機器の活用力によって社会的・経済的な格差が生じることが懸念されることから、情報リテラシーの向上も含め、その対応が必要となっていくと考えられます。</u>
7	2. 時代潮流 (6)ライフスタイル・価値観の多様化	会津藩の「什(じゅう)の掟」	「什の掟」については地域によって理解にばらつきがあるため、 <u>内容の解説等が必要である。</u>	注釈等で補足します。
8			魅力の再発見と地域が抱える問題は表裏一体である。 変わっていく中で変わらずに保持してきた生活文化や産業、自然などは、大内宿のように時代が経ってから価値を持つという例もある。	ご意見として承りました。

整理 番号	該当項目	意見等の内容	事務局の対応
9		昭和42年に制定された県民の歌の歌詞から、今も続いている福島 <span style="color: red;">の姿がみえてくる。メリットとデメリットの折り合いをつけて生活をしていくという知恵、地域潜在力が福島にはある。</span>	ご意見として承りました。
10		<u>自己実現について、生涯学習等の中ではなく仕事や日常生活で感じる</u> <u>ことができるような発想の転換も必要</u> <u>である。生活に直結する救命や防災、</u> <u>安心安全な生活を営むことも地域</u> <u>コミュニティの再生や自己実現の</u> <u>手法として取り入れることが可能で</u> <u>はないか。</u>	ご意見として承りました。
11		PRというとい部分を知徹底させることになりがちであるが、あえて <u>そうでない部分を知ってもらうこと</u> <u>で、いいところは伸ばし、そうでない</u> <u>ところは改善する知恵もでてるの</u> <u>ではないか。</u>	ご意見として承りました。
12		「 <u>社会資本整備の充実化に向けて、</u> <u>計画的に取り組むことの必要性</u> 」 <u>について、明確に謳ってもよい</u> <u>のではないか。将来に向けて、また</u> <u>次世代の子どもたちが住み続ける</u> <u>ための環境づくりには欠かせない要</u> <u>素である。</u>	ご意見として承りました。社会資本の計画的な整備については、重点施策などにおいて記述を検討します。
13		<u>行政とNPO、企業、研究機関の連</u> <u>携を強化するシステム構築により、</u> <u>地域づくりや産業創出の活性化に</u> <u>期待したい。</u>	ご意見として承りました。
14		七つの生活圏内の自治体同士、 県と生活圏の自治体同士の連携強化に期待したい。	ご意見として承りました。